

集団がん検診を受けよう！その前に…

安全に集団がん検診を受けていただくために、以下に記載された「×検診が受けられない」「⚠ご注意ください」をご確認ください。

※自覚症状のある方は医療機関での受診をおすすめします。

- ⚠ 磁気や放射線の影響を受ける可能性があるため、インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着したままX線検査（肺がん検診、胃がん検診、乳がん検診）を受診いただくことはできません。

肺がん検診

装置の体重制限135kgまで



- × 妊娠中、または妊娠の疑いのある方。→ 裏面⑱

胃がん検診(バリウム検査)

装置の体重制限135kgまで

- × アレルギー（バリウム製剤、下剤によるもの）のある方。→ 裏面①
- × 透析中、慢性腎疾患、心疾患で水分制限がある方。→ 裏面②、③
- × 腸閉塞やイレウスの既往がある方。→ 裏面③
- × 検査前夜、9時以降に飲食した方。→ 裏面⑦
- × 現在、消化管系の炎症性疾患・潰瘍性疾患の治療をしている方。→ 裏面④
- × お腹の手術（手術跡が残るもの）を1年以内にした方。→ 裏面⑤、③
- × 検査当日を含み、3日以上便秘が続いている方。→ 裏面③
- × 検査当日、糖尿病の薬を服用又はインシュリン注射をした方。→ 裏面⑥
- × 妊娠中、または妊娠の疑いのある方。→ 裏面⑱、⑲
- × 意思疎通が困難な方・寝返り回転が困難な方。→ 裏面⑧
- × 日常的に食物や飲物が飲み込みにくく、むせやすい傾向にある方。→ 裏面⑨
- ⚠ 授乳中の方は下剤の成分により乳児が下痢をする可能性があります → 裏面⑩



大腸がん検診



- × 生理期間中の方は採便しないでください。→ 裏面⑪
- ⚠ 胃がん検診を受けられた方はバリウムの影響がありますので、少なくとも1週間の間をあけてから採便してください。

乳がん検診（マンモグラフィ検査）

- × 妊娠中、または妊娠の疑いのある方。→ 裏面⑬、⑲
- × 脳室一腹腔シャント（V-Pシャント）チューブが入っている方。→ 裏面⑫
- × 胸部にペースメーカー、リザーバーポートを埋めている方。→ 裏面⑫
- × 美容豊胸手術を受けた方。→ 裏面⑫、⑬
- × 授乳中または断乳後6ヶ月以内の方。→ 裏面⑬
- ⚠ 乳がんなどによる術後再建術の場合は手術していない側の撮影のみ可能です。



子宮頸がん検診

装置の体重制限135kgまで

- × 生理期間中の方。→ 裏面⑭
- × 妊娠中、または妊娠の疑いのある方。→ 裏面⑰
- × 今までに性交渉のない方。→ 裏面⑮
- × 子宮を全摘されている方。→ 裏面⑯



検診が受けられない、ご注意ください理由

- ① アナフィラキシーショック（顔面蒼白、呼吸困難、血圧低下、意識消失、蕁麻疹 など）を起こす恐れがあります。
- ② 水分制限がある場合、バリウム排出が困難になります。
- ③ バリウムが停滞し、便の排出が遅れるとバリウム塊による消化管の穿孔（穴が開く）など重篤な合併症を起こす恐れがあります。
- ④ 停滞したバリウム塊によって消化管の穿孔（穴が開く）や病状の悪化を招く恐れがあります。
- ⑤ 手術した周辺が癒着し、通過障害を起こす恐れがあります。
- ⑥ 検査当日食事をせずに服薬・注射をすると低血糖状態になりやすく、さらに発泡剤により消化器官内圧が上昇することで一過性の血圧低下を起こす恐れがあります。
- ⑦ 食べものが胃に残っていると、正確な検査となりません。
- ⑧ スピーカーからのアナウンスによる息止め指示（吸気、呼気）や、体位変換指示（仰向け、うつ伏せ、左右に回転、鋭角な頭低位）に従ってスムーズな反応が困難だと、安全確保の面や精度確保の面において、結果的に有益な検査となりません。
- ⑨ バリウムの誤嚥（気管や肺に誤って入ること）により、窒息・呼吸困難状態から低酸素血症につながる恐れがあります。更に重篤な合併症として、誤嚥性肺炎を発症する恐れもあります。
- ⑩ 授乳中の方用の下剤（ピコスルファートナトリウム水和物）を準備しておりますが、ご心配な方は産院にご相談ください。
- ⑪ 腸からの出血と月経による出血の区別ができません。
- ⑫ 乳房を圧迫して撮影するため破損の恐れがあります。
- ⑬ 乳房が普通の状態ではないため、判定が困難になります。
- ⑭ 検査に必要な細胞が十分に取れない場合があります。
- ⑮ 子宮頸がんの原因の多くは性交渉で感染するHPV（ヒトパピローマウィルス）です。性交渉のない方が子宮頸がんを発症することは非常に稀です。医療機関での受診をおすすめします。受診の際はあらかじめ医療機関にご相談ください。
- ⑯ 子宮全摘者が子宮頸がんを発症することは非常に稀です。医療機関での受診をおすすめします。
- ⑰ 妊娠中の方は、妊婦健診の初回に子宮頸がん検診が含まれるため不要です。妊娠の疑いのある方は医療機関での受診をおすすめします。
- ⑱ 検査で使用する製剤類が、妊娠に影響を及ぼす恐れがあります。
- ⑲ エックス線による胎児への影響はほとんどありませんが、心身の変化における影響を考慮しています。産後の受診をお勧めします。

ご不明な点がございましたら 石川県成人病予防センター（電話 076-237-6262）にお問い合わせください。

検査をお受けいただく前に

- 妊娠中、または妊娠の疑いのある方はX線撮影検査（胸部X線検査、胃がん検診、マンモグラフィ）・子宮頸がん検診は受診できません。
- 今までに性交渉のない方に子宮頸がんが発生することは非常に少ないと言われていますが、受診を希望される場合は、十分な設備が整っている医療機関での受診をお勧めします。受診の際はあらかじめ医療機関にご相談ください。
- 子宮を全摘された方は、手術された医療機関での受診をお勧めします。
- 検診当日はご本人と受診票を確認するために、何度もお名前を確認することがあります。ご協力をお願いします。

※集団検診の申し込みをいただいた項目について、次のような点に注意してください。



特定健診・定期健康診断

特定健診受診の方は受診券及び健康保険証を必ずお持ちください。

- 尿検査がありますのでなるべく排尿しないでお越しください。
- 採血を受けられる方はなるべく空腹の方がよろしいです。（水、お茶、ブラックコーヒーは飲水可）
- 女性の方はパンティストッキングより靴下の方が検査に都合よいです。
- 心電図検査受診の方は、上半身は着脱しやすい服装でお願いします。



肺がん検診

- ボタンやプリントやラメのないTシャツを準備いただくと都合よいです。Tシャツを着たまま撮影できます。
- 髪の長い方は上の方で束ねてください。（背中にかからないように）
- ネックレスは外してください。



胃がん検診

- 検査前日は、夜9時以降は絶飲・絶食してください。（※コップ1,2杯程度の水のみ可）
- 検査当日は、検査終了まで基本的に絶飲・絶食してください。（※内服薬に関しては受診票の裏面をお読みください）
- 検査当日の服装は、着脱のしやすいものにし、検査の妨げとなる金属・プラスチック類が付いたものは避けてください。



大腸がん検診

- 緑色のキットが入っています。その中の注意書きをご覧ください。
- 採便後、容器は涼しい場所で保管してください。



乳がん検診

- 上半身は着脱しやすい服装でお願いします。
- 髪の長い方は後ろでひとつに束ねてください。



子宮頸がん検診

- 当日はスカートで、ストッキングは着用しないほうが都合よいです。
- 検診後、軽い出血や腹痛を伴うことがありますが心配はいりません。なお、出血が数日続くときは医療機関にご相談ください。

公益財団法人 石川県成人病予防センター

〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
TEL 076-237-6262 FAX 076-238-9207